STROKE LAB / CLINICAL WORKSHEET

STEF｜左右の時間と得点

簡易上肢機能検査 / Simple Test for Evaluating Hand Function

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

疾患／発症日：_____ 麻痺・障害側：□右 □左 □両側

発症前利き手：□右 □左 年齢：____歳 使用キット・版：_____

正式検査シートで換算した得点を転記します。未実施・不能・時間超過は区別し、下欄に理由や完了個数を残します。

No.	項目	右：秒	右：点	左：秒	左：点	観察・状況
1	大球					
2	中球					
3	大直方					
4	中立方					
5	木円板					
6	小立方					
7	布					
8	金円板					
9	小球					
10	ピン					

総得点　右：_____／100点　　左：_____／100点

年齢階級との照合：_____ 全10項目：□完了 □未完了

未実施・不能・時間超過／再試行／完了個数（項目・左右を明記）

机・椅子・足底支持／疼痛・疲労／眼鏡・装具／条件の変更

出典：金子翼らのSTEF。実施・採点の詳細は原版をご確認ください。

STROKE LAB / CLINICAL WORKSHEET

STEF｜動作から生活支援へ

簡易上肢機能検査 / Simple Test for Evaluating Hand Function

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

01　時間がかかった項目と、止まった段階

□届く □つかむ □保持する □運ぶ □離す □次へ移る

02　観察した事実（肩・肘・手指・体幹・視線・感覚の手がかり）

03　追加して確かめたいこと／本人が困っている生活動作

04　次の介入（条件を一つ変えて何を確認するか）

05　再評価

対象側：□右 □左　前回：____点　今回：____点　変化：____点

同条件か／項目の秒数・動作・生活での使用にどんな変化があったか

変化量の参考：亜急性期脳卒中53名の研究でMDC95は12.7点。整数では13点以上が目安。生活上の重要な変化を示すMICとは区別します。

次回日：_____ 本人・家族へ共有すること：_____

正式用具・検査シート　　Imai et al. 2026（変化量の研究）

臨床観察・支援計画欄：STROKE LABによる補足。2026.10.31

出典：金子翼らのSTEF。実施・採点の詳細は原版をご確認ください。